

愛知県流域下水道事業経営戦略 2025 年度の実績

1 数値目標※1

項 目		2014年度 (基準年)	中期目標	2025年度 までの実績	進捗状況等
快適な水環境を創造する	下水道処理人口普及率 (名古屋市含む)	75.6%	約85% (2025年度)	82.6%	2025年度までの目標85%に対し、7.0%進捗した (目標に対する達成率74.5%)
	高度処理人口普及率 (名古屋市含む)	40.7%	約55% (2025年度)	50.5%	2025年度までの目標55%に対し、9.8%進捗した (目標に対する達成率68.5%)
安心・安全なまちづくりを支える	流域下水道の耐震化 処理場・ポンプ場	216施設	269施設 (2023年度)	249施設	2023年度までの目標53施設に対し、 33施設整備した(目標に対する達成率62.3%)
	流域下水道の耐震化 管きよ	332km	332.9km (2023年度)	332.9km	2023年度までの目標0.9kmに対し、 全て完了した(目標達成)

※1 数値目標は、『あいち下水道ビジョン2025』に示したもののうち、流域下水道に関連するもののみ記載。

2 経営指標

項 目		2025年度実績	2024年度実績	2024年度 類似団体平均※2
経営の健全性	経常収支比率【単年度損益】	97.80%	102.89%	100.13%
	流動比率【キャッシュフロー】	98.24%	94.10%	103.57%
経営の効率性	汚水処理原価【費用の効率性】	56.08円/㎥	49.78円/㎥	52.89円/㎥
	施設利用率【施設の効率性】	73.95%	76.13%	68.60%
	水洗化率【施設の効率性】	88.22%	88.14%	94.27%
老朽化の状況	有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】	23.51%	20.53%	41.27%

※2 類似団体平均は、全国の流域下水道事業を実施している自治体のうち、供用後30年経過している自治体の平均。

3 投資・財政計画との比較

収益的収支(税抜) (単位:千円)

年 度		2025年度			
区 分		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	営業収益	13,762,039	14,791,272	1,029,233	107.5%
	営業外収益	16,343,734	16,730,494	386,760	102.4%
	収入計	30,105,773	31,521,766	1,415,993	104.7%
支 出	営業費用	28,649,619	30,046,461	1,396,842	104.9%
	営業外費用	1,447,999	2,184,416	736,417	150.9%
	支出計	30,097,618	32,230,877	2,133,259	107.1%
経常損益		8,155	△ 709,111	△ 717,266	-8,695.4%
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	0	0	—
特別損益		0	0	0	—
当年度純利益(又は純損失)		8,155	△ 709,111	△ 717,266	-8,695.4%

資本的収支(税込) (単位:千円)

年 度		2025年度			
区 分		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	企業債	4,975,000	7,338,000	2,363,000	147.5%
	他会計出資金	2,176,969	0	△ 2,176,969	0.0%
	国庫補助金	7,929,243	8,197,468	268,225	103.4%
	建設負担金等	1,677,953	1,572,679	△ 105,274	93.7%
	収入計	16,759,165	17,108,147	348,982	102.1%
支 出	建設改良費等	13,378,110	11,806,037	△ 1,572,073	88.2%
	企業債償還金等	7,754,572	8,048,202	293,630	103.8%
	支出計	21,132,682	19,854,239	△ 1,278,443	94.0%
損益勘定留保資金等充当額		4,373,517	2,746,092	△ 1,627,425	62.8%

4 2025 年度の主な取組

○汚水処理施設整備（管きよの整備）

- ・新川東部流域下水道 西春中央幹線 L= 874m (2025 年度完了)
- ・新川東部流域下水道 西春北部幹線 L= 717m (2025 年度完了)
- ・新川東部流域下水道 師勝東部幹線 L= 249m (2025 年度完了)
- ・新川西部流域下水道 春日幹線 L= 991m (2025 年度完了)

○汚水処理施設整備（水処理施設の増設、高度処理施設の整備）

- ・五条川右岸浄化センター Q=16,000㎥/日

○地震対策（処理場の耐震化、非常用自家発電設備の整備）

【処理場の耐震化】

- 矢作川浄化センター、豊川浄化センター、境川浄化センター、
五条川左岸浄化センター、衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター

【非常用自家発電設備の整備】

- 境川浄化センター（2025 年度完了）

○老朽化対策（処理場）

- ・矢作川浄化センター、境川浄化センター、衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター、
豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター、日光川上流浄化センター、
五条川右岸浄化センター、日光川下流浄化センター、新川西部浄化センター

○広域化・共同化

- ・衣浦西部浄化センター（共同汚泥処理）・日光川上流浄化センター（広域化・水処理）

○下水汚泥のエネルギー利用

- ・矢作川浄化センター（バイオガス燃料利用） ・豊川浄化センター（バイオガス発電）
・衣浦東部浄化センター（炭化燃料製造）

○施設・土地の有効活用

- ・衣浦西部浄化センター（太陽光発電・土地貸付）、
・豊川浄化センター（太陽光発電・土地貸付）、
・日光川下流浄化センター（太陽光発電・土地貸付）